

食品安全委員会で当社研究員の論文が引用紹介されました

食品の安全性を確保するため科学的にリスク評価やリスクコミュニケーションを行う内閣府の食品安全委員会で11月21日、報道関係者との意見交換会が行われ、食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」の評価をテーマに議論されました。

同委員会の浅野哲委員が示された話題提供資料の中で、エフシージー総合研究所所属研究員の調査論文『一般住宅における室内浮遊真菌の日内変動調査』（2014年、川上裕司・橋本一浩）が紹介されていました。川上は当研究所顧問、橋本は同暮らしの科学部 IPM 研究室主任研究員として、細菌やカビ、ウイルスの除去評価などの研究に取り組んでいます。

食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立し、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。

当研究所は今後も食品安全のみならず、社会や生活に役立つ研究活動を行って参ります。

オリジナルの文献は下記をご覧ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/siej/17/1/17_11/pdf